

今月は論説文を学習します。論説文で出題頻度の高い、理由の記述の考え方についてお話しします。

理由説明の記述で大切なことは、設問文を丁寧に読んで、何の理由が問われているのかを正しく理解することです。何の理由が聞かれているのかを意識しないで解答を書いてしまうと、設問の意図とはズレた答案になってしまいます。ですから、まずは正しく設問文を理解することを心がけてください。

理由説明の記述問題を考えるときの基本は、傍線の前後から、理由が書かれているところを探し出すようにすることです。その際、理由を表す言葉に注意を払いましょう。たとえば、「ので」「から」「ため」という言葉や、「て」「で」という助詞に気をつけて読むとよいでしょう。また、順接の接続詞「だから」「したがって」の直前の部分には理由が書かれていますし、「なぜなら」という理由説明の接続詞の直後にも理由が述べられています。このような理由を見つけるためのサインとなる言葉を見逃さないようにしましょう。

傍線の前後に理由が見つからないときは、傍線を含む文脈を意識して、探す範囲を広げます。このときは文章構成を意識するようにします。設問が作られている傍線を含む抽象的な部分から見て、具体例の部分をはさんだ、ひとつ前、もしくはひとつ後ろの抽象的部分に理由が書かれていることがよくあります。また、傍線中に出てくる言葉と、同じ言葉が使われている部分に理由が書かれていることも多いので、これらに着目して理由が述べられている場所を見つけましょう。

また設問によっては、「本文全体をよく読んで」という指示が入っていることもあります。これは傍線が文章の始めに引かれていて、その理由が書かれている場所が文章の最後にあるときや、逆に、傍線が文章の最後に引かれていて、理由が文章の始めに書かれているときに使われる指示です。こういった設問文のヒントも見落とさないようにしてください。

ここまでは本文中に明確な理由が述べられているものについて見てきましたが、はっきりと理由が述べられていない問題もあります。その場合は、理由を考える際の手がかりとなる「事実」をつかみ、「事実」と傍線部との因果関係を自分で考える必要があります。また、傍線から「なぜ」という質問を繰り返し、「なぜ」という質問がそれ以上出ないところまで、因果関係をさかのぼっていくという手法を使うと解ける問題もあります。

理由説明の記述の難しさは、これまで説明した方法のどれを使えばよいのかということが、すぐに見抜けない点にあります。しかし、これまでに説明してきたことを身につけていれば確実に解けますので、問題練習を通して考え方のコツを身につけてほしいと思います。

次に、理由説明の記述で気をつけておかなければいけないことを2点お話しします。1つ目は、自分の書いた答案に、「なぜ？」という疑問が生じないかという視点で、見直しをすることです。書いた答案に疑問が生じるようであれば、説明不足の答案になっています。これ以上疑問点が出ないところまで突き詰めて、答案をまとめるようにしてください。2つ目は、自分の書いた答案と傍線部分をつないで読んでみて、理屈が通っているかどうかを確かめることです。理由説明の記述は具体化の記述と違い、傍線部の内容を言いかえて説明してしまうと、間違いになります。ですから、答案の中に傍線部を言いかえた表現を書いてしまわないように気をつけましょう。

(合格力完成教室 難問テキスト)

第10回

今回は文章構成を意識して設問を解くことがテーマです。意味段落の塊を意識し、意味段落ごとに内容をまとめながら読み進めるようにしてください。文章構成を意識できるようになれば、段落分けの問題が解けるようになるのはもちろん、要約型の記述問題が正しく書けるようになりますので、しっかりトレーニングしましょう。

第11回

今回から論説文を学習します。今回は要点をまとめることがテーマになっています。要約は文章全体を短くまとめることですので、筆者の主張だけをまとめる要旨を書く問題とは異なる点を理解しておきましょう。各段落内で重要な内容が書かれている場所を見つける方法が、テキストの「自分の読解方法を確認するためのチェックポイント」に書いてありますので、確認しておきましょう。

第12回

今回のテーマは「論理の展開」です。日本語の論理には、「類比」「対比」「因果関係」の三つがあります。まずはイコールの関係を見つけながら読んでみましょう。また、対比が使われているところでは、筆者の価値判断がどちらにあるのかに留意しましょう。また、因果関係に気を配りながら読み進めることで、理由説明の問題がスムーズに解けるようになります。

第13回

今回のテーマは「要旨」をまとめることです。筆者の主張が書かれているところを見つけるためには、「具体的に書かれている部分」と「抽象的に書かれている部分」をしっかりと区別して読むことが大切です。接続語に着目したり、文章構成に気を配ったりすることで、抽象的な部分をとらえ、その中でも筆者の主張が書かれている部分を見つけられるようになってほしいと思います。

9月から始まった6年生後期の6灘WEBにおいては、短い期間で中学入試に関する単元を足早にすべてまとめ直します。テキストは、難問テキスト(の中の「運用力」部分)を使用し、特に重要な問題を中心に一部の問題を扱っています。

学習法としては、先に動画を一通り見て理解した上で、もう一度問題を解き直す…ということを繰り返していく方法と、動画で扱っている問題を確認して(動画においては、必ず問題を読み上げますので、その段階まで見て一旦動画を停めるというのもいいと思います)、一旦自力で問題に挑戦し、その後、動画を見た上で、ご自分がほぼ理解できていたと思われたら次の問題に進み、何らかの間違いがあったり、正解したものの、新しい解法や知識などが展開されたりした場合は、解き直しをする(新しい解法で解いてみる)というステップを入れた上で、次の問題に進むという方法があります。

この、解き直す…という段階を経ることにより、実力が飛躍的に向上していきます。

理想としては、間違ったり、新しい発見があったりした問題については、少し間を置いて(例えば、1週間、1ヶ月など)再度解き直しをするとより完璧になります。

あと、動画がない問題についても、余裕に合わせて取り組んでみてください。この場合は、テキスト付属の解答解説を参考に、間違ったところについては解き直しをすることをお奨めします。また、「運用力」の前の「知識技術」は比較的短時間で、その単元の基本的な考え方のかんりの部分を確認することができますので、合わせて活用してください。

(合格力完成教室 難問テキスト)

◆ 第10回 速さと比3

「知識技術」6、9はしっかり押さえておきましょう。水入れの問題で、グラフが折れるのは、主に、水を入れる速さが変化した、もしくは漏れなどが始まったという場合と、底面積が変化したという場合があります。

「運用力」1は少し面倒ですが、重要な問題です。7は基本になります。また、8も少し発展的ですが、時々中学入試で出題されます。16(4)は簡単そうに見えますが、落とし穴があります。20は影武者(シャドー)の考え方です。26のグラフの書き方はしっかり押さえておいてください。

◆第11回 立体図形Ⅲ 展開図・投影図・その他立体図形の応用に関する問題

「知識技術」10、11、12はしっかり押さえておいてください。非常によく出てくるパターンになります。また、17は円錐台から円錐台を引く考え方が基本になりますが、回転体の体積は、重心(この問題の場合は、正方形ABCDの対角線の交点)が1回転したときに通る線の長さ×板の面積をかけると求めることができるということも知っておくといいと思います。(運用力の31も本質は同じです。)

「運用力」8の円錐台の表面積、体積はすぐに求められるようにしておきましょう。9の正四面体が立方体の $\frac{3}{4}$ の体積であることも把握しておいてください。10は各段の上から見たイメージを書いて考えます。20はトイレットペーパーの芯をほどくとよくわかります。21は難しすぎるかもしれません。23の直方体の影もイメージできるようにしておきましょう。

◆第12回 立体図形Ⅳ 水入れ、立体図形の応用に関する問題

「知識技術」 5, 9は簡単な割には意外と引っかかる人が多いので要注意です。13は空気に注目します。

「運用力」 4は超定番の問題です。6は正面から見た面積に注目して処理していくことができます。8, 9のような水と重りの基本的なパターンは押さえておきましょう。立体切断としては、19や21は確実に押さえておきましょう。18も重要ですが、少し切り口の位置が複雑になる設定となっています。むしろ、24, 25あたりが重要です。

◆第13回 場合の数Ⅱ

「知識技術」 7, 8は特に定番ですので、しっかり押さえておいてください。18は知識技術の中に入っていますが、意外と難しい問題です。

「運用力」 3, 5, 8辺りは重要と思われます。16, 22は面倒ですが、いい練習になります。26, 27, 28も時々入試問題で見るタイプです。

これから入試までの期間は、最後の追い込みとして、志望校の入試問題を中心に勉強を進めていくことになると思います。しかし、その傍ら、少し弱点があるかも、と感じられた場合は、この難問テキストの知識技術を参照し、似た問題を再度練習しておきましょう。

第一志望校合格をお祈り申し上げます。

11月の理科は「気体と燃焼」「人体」「植物」「生物のつながり」の3つの単元を学習します。生物を中心に暗記事項が多いですが、読み取り問題や計算問題なども多く出題される分野ですので、まずは知識が定着しているかを確認し、読み取りや計算問題では与えられた条件をきちんと整理し、筋道立てて思考していきましょう。入試も近づいてきましたので、今までに学習した内容で、知識や解法の抜けがないかも、あわせて確認しておくといよいでしょう。

今月に学習する内容の各コースで必要な問題を以下に記します。なお、web 教室では難度の高い「後期特別テキスト」、「難関突破問題」、「合格力完成教室 難問」の「運用力重点問題」を解説していますので、がんばって挑戦していきましょう。

第10回 気体と燃焼

酸素と二酸化炭素・ものの燃え方に関する問題です。酸素と二酸化炭素の発生については、第9回同様、まず表やグラフから過不足なく反応する点を見つけることが大切です。ものの燃え方については、まず知識をきちんと固めることと、計算問題では必ず「言葉の式」を書き、燃焼前後の重さの変化をきちんととらえることが大切です。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問（兵庫、豊中選抜は□1～□6）

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：□1 □2 □3 □5 (web での解説はありません)

運用力重点問題：□1 □5 □6 □7 □8

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題：全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：□1 □2 □3 □5 (web での解説はありません)

運用力重点問題：□1 □5 □6 □7 □8

◆第11回 人体

食物の消化や血液の循環など、まずは各器官の名前と働きを確実に覚え、次にそれらがどのようにつながりあって働いているか、丸覚えするのではなく、各器官のつながりを意識しましょう。また、読み取り問題や計算問題では必要な条件や数値を確実に拾い、それらをきちんと整理していきましょう。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問（兵庫、豊中選抜は□1 □2 □3 □4 □5 □7）

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：1 2 3 4 (web での解説はありません)

運用力重点問題：2 3 4 5 7 8 (2)(3)(4)

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題：全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：1 2 3 4 (web での解説はありません)

運用力重点問題：2 3 4 5 7 8 (2)(3)(4)

◆第12回 植物

種子・花のつくりと分類・からだのつくり・光合成・呼吸・蒸散など、数多くの内容を扱います。まずはそれらの知識がきちんと定着しているか、確認しましょう。このとき、知識は一つ一つ覚えるのではなく、他の知識とのつながりを意識するようにしましょう。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問（兵庫、豊中選抜も同様）

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：1 2 3 4 (web での解説はありません)

運用力重点問題：1 5 6 7 9

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題：全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：1 2 3 4 (web での解説はありません)

運用力重点問題：1 5 6 7 9

◆第13回 生物のつながり

せきつい動物・無せきつい動物の分類、食物連鎖、動物の冬越しなど、この単元も覚えなければならない事項がたくさんありますので、まずは一つ一つ確実に覚えましょう。それができたら、次に他の知識とのつながりも理解していきましょう。

①灘特進・兵庫、豊中選抜

「後期特別テキスト」

全問（兵庫、豊中選抜も同様）

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：1 2 3 4 5 (web での解説はありません)

運用力重点問題：2 3 4 5 6 7 9 10 12

②大阪・京都選抜

「難関突破問題」

応用問題：全問

「合格力完成教室 難問」

知識・技術重点問題：1 2 3 4 5 (web での解説はありません)

運用力重点問題：2 3 4 5 6 7 9 10 12

(合格力完成教室 難問テキスト)

◆第10回 外交史

外交史について学習します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

- 1 中国の王朝の順番は必ず確認しましょう。
- 2 年表中のおもな年代は覚えましょう。
- 3 代表的な条約です。すべて確認しましょう。

②「知識・技術確認問題」

- 1 各時代の外交関係を確認してください。
- 2 やや複雑な形式の出題ですが、こういった問題にも慣れておきましょう。
- 5 日本の対外関係について、時代ごとのようすをつかみましょう。
その他の問題も演習し、答え合わせをして確認しておきましょう。

②「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

③「運用力重点問題」

- 1 資料をもとに考察する問題に慣れておきましょう。
- 3 長文記述問題が出題される中学校を受験する方はしっかり取り組んでください。

④「栄冠への道」

第10回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

◆第11回 文化・宗教史

各時代の文化の特色について整理します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

- 1 各時代の文化の特色と名称、おもな文化遺産や人物を確認しましょう。
- 2 各時代の文化の背景について理解しましょう。
- 3 代表的な建築物や絵画などを確認しましょう。

②「知識・技術確認問題」

- 1 平安時代から昭和時代の文化について基本知識の確認をしてください。
- 2 ①～⑥の資料と関連事項、周辺知識を確認してください。
- 3 各時代について、正誤判定問題で知識を幅広くしておきましょう。

②「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

③「運用力重点問題」

- 1 各時代の文化について、一問一答形式で知識を確認してください。
- 2・3 やや難しい選択肢が並びます。よく読んで解答してください。
- 4 長文を読んで、さらに長文記述で解答する問題です。志望校の過去問に同様の出題傾向がみられ

る場合、この問題で類題演習をしましょう。

④「栄冠への道」

第11回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

◆第12回 日本国憲法と基本的人権

公民分野のうち、日本国憲法と基本的人権について学習します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

① 「大日本帝国憲法と日本国憲法」について、その相違を確認しましょう。

② 日本国憲法の三原則の内容を憲法の条文を通じて確認しましょう。

②「知識・技術確認問題」

①・② 日本国憲法の三原則について基本知識を確認してください。

③・④・⑤ 正誤問題で理解を深めましょう。

②「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

③「運用力重点問題」

① 資料を読み取って解答する問題に慣れましょう。

② 問題に使われている「あたらしい憲法のはなし」の抜粋をよく読んでおきましょう。

④ 近年の憲法をめぐる動きを知っておきましょう。

⑤ 長文を読んで、さらに長文記述で解答する問題です。志望校の過去問に同様の出題傾向がみられる場合、この問題で類題演習をしましょう。

④「栄冠への道」

第12回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

◆第13回 三権分立・予算・地方自治

三権分立・予算・地方自治について学習します。動画を見ながら学習に取り組んでください。

①「解法のための要点整理」

① 憲法などで定められられた内容のうち、数字で表されるものを確認しましょう。似たような数字で混乱してしまわないようにしましょう。

② 三権分立のしくみは完全に覚えておいてください。

③ 国の財政について確認してください。

④ 有権者の増加のようすを覚えましょう。

⑤ 地方自治のしくみについて、国の政治のしくみと違う点に気をつけて確認しましょう。

②「知識・技術確認問題」

①・② 国の政治のしくみについて、基本知識をしっかり把握しているか確認してください。

③ 財政について、基本知識を確認してください。

④・⑤ 地方自治について、近年の動きを確認してください。

②「基礎事項のワンポイントチェック」

基本知識の確認をしてください。

③「運用力重点問題」

1 裁判のしくみについて、応用的な知識の確認をしてください。

2 資料をもとに記述する練習をしましょう。国立中学などでこういった形式の問題がよく出題されます。

4・5 応用レベルの問題です。問題をよく読んで解答してください。

④「栄冠への道」

第13回を学習し、間違い直しをしておきましょう。

※志望校の過去問で、長文記述問題が出題されている場合は〈特別長文記述問題〉で問題演習をしておいてください。合格まで頑張りましょう。

(関西精選テキスト)

◆第10回 外交史

①「関西精選テキスト(歴史・政治)」の学習

各時代の外国との関係について学習します。

1 弥生～飛鳥時代の外交を確認する問題です。

2 遣隋使・遣唐使に関する問題です。

3 元寇に関する問題です。

4 鎌倉～室町時代の外交を確認する問題です。

5 江戸時代の外交を確認する問題です。

6 鎖国に関する問題です。

7 明治時代の外交を確認する問題です。

8 不平等条約改正に関する用語を確認する問題です。

9 不平等条約改正に関する問題です。

10 大正時代の外交を確認する問題です。

11 戦前の戦争に関する問題です。

12 戦前の外交に関する問題です。

13 太平洋戦争に関する問題です。

14 大正～戦前の戦争に関する応用問題です。

15 戦後～平成時代の外交に関する問題です。

16 明治～戦前の戦争に関する応用問題です。

17 外交に関するできごとを年代ごとに並べ替える問題です。

◆ 外交に関する正誤問題です。

◆第11回 文化・宗教史

①「関西精選テキスト（歴史・政治）」の学習

各時代の文化、宗教（仏教）に関する知識を学習します。

- 1 縄文～古墳時代の文化に関する問題です。
- 2 飛鳥～奈良時代の仏教に関する問題です。
- 3 奈良時代の文化に関する問題です。
- 4 平安時代の文化に関する用語確認の問題です。
- 5 平安時代の文化に関する問題です。
- 6 鎌倉～安土桃山時代の文化に関する用語確認の問題です。
- 7 鎌倉～室町時代の文化に関する問題です。
- 8 江戸時代の文化に関する用語確認の問題です。
- 9 江戸時代の文化に関する問題です。
- 10 江戸時代の文化に関する用語確認の問題です。学校教科書の上位知識が一部出題されています。
- 11 明治時代の文化に関する問題です。
- 12 明治時代以降の教育に関する問題です。
- 13 明治時代以降の文化・教育に関する問題です。
- 14 2024年から発行予定の新紙幣に関する問題です。
- 15 明治以降の文化に関する問題です。

◆第12回 憲法

①「関西精選テキスト（歴史・政治）」の学習

日本国憲法に関する知識を学習します。

- 1 大日本帝国憲法と日本国憲法に関する知識確認の問題です。
 - 2 平和主義に関する問題です。
 - 3 憲法の違いと基本的人権に関する問題です。
 - 4 基本的人権に関する問題です。
 - 5 基本的人権と義務に関する問題です。
 - 6 選挙に関する問題です。
 - 7 衆議院議員総選挙の投票率に関する問題です。
 - 8 基本的人権の知識を確認する総合問題です。
 - 9 政治知識を確認する総合問題です。
 - 10 政治知識の正誤判定の問題です。
- ◆(P85) 情報・災害・福祉・祝日に関する補充問題です。
- ◆(P86) 基本的人権・学校教科書の知識に関する補充問題です。
- ◆(P87) 日本国憲法の使用確認の問題です。

◆第13回 三権・財政・地方自治

①「関西精選テキスト（歴史・政治）」の学習

国会・内閣・裁判所の役割、財政、地方自治に関する内容を学習します。

- 1 国会と立法権に関する問題です。
- ◆ 衆議院・参議院の知識のまとめ。
- 2 内閣と行政権に関する問題です。
- 3 裁判所と司法権に関する問題です。
- 4 三権分立に関する問題です。
- 5 地方自治・地方分権に関する問題です。
- 6 憲法改正に関する問題です。
- 7 国会に関する問題です。
- 8 内閣に関する問題です。
- 9 裁判に関する問題です。
- 10 地方自治に関する問題です。
- 11 日本国の財政に関する問題です。
- 12 日本の国税収入の変化に関する問題です。
- 13 ふるさと納税に関する問題です。
- 14 日本の祝日に関する問題です。